

スケート国体 あす長野で開幕

頂点狙う山本(八戸) スピード シールド獲得に挑む フィギュア 王座奪還を目指す IH成年

第72回国体冬季大会「ながの銀嶺国体」のスケート、アイスホッケー競技が27、31日、長野県で開かれる。青森勢はスピード、シヨートトラック、フィギュア、アイスホッケーに選出、長野市エムウエーブ(28、31日)少年男子は八戸西高勢に期待。山本大史は直前のインターハイで1方好成績を残しており、頂点を狙う力は十分だ。短距離では昨年

第72回国体冬季大会「ながの銀嶺国体」のスケート、アイスホッケー競技が27、31日、長野県で開かれる。青森勢はスピード、シヨートトラック、フィギュア、アイスホッケーに選出、長野市エムウエーブ(28、31日)少年男子は八戸西高勢に期待。山本大史は直前のインターハイで1方好成績を残しており、頂点を狙う力は十分だ。短距離では昨年



鬼頭 琴音



澤尻磨里英

5000以4位の下館信司が2年連続の入賞を目指す。シングルトラックの国体はアクシデントもつきものだが、実力を出し切りたい。

成年女子は八戸学院大から鬼頭琴音、澤尻磨里英が

出場。鬼頭が短距離、澤尻は長距離で上位入賞をうかがう。

少年女子には県選手団唯一の中学生・宮下和奏(根城中)がエントリー。成年男子は昨年1000以6位入賞を果たした金濱竜聖

(光星高専大)ら実力者がそろつ。

◇シヨートトラック(30、31日・長野市ビッグハット)

出場するのは西山夢乃(八戸西高・神奈川大)のみ。昨年はスピードスケートに出場し、大学進学を機に本格的にシヨートトラックに転向した。実力はいかほどか。

◇フィギュア(27、30日・ビッグハット)

少年女子は大澤陽(三沢高)と廣谷帆香(工大一高)が出場。上位8県に与えられるシールド獲得に挑む。ともに今季は全日本選手権の大舞台を経験。インターハイで明らかになった課題を修正して臨みたい。

◇アイスホッケー(27、31日・岡谷市やまびこスケート)の森アイスアリーナは

昨年4位の成年が2年ぶりの王座奪還を目指す。八戸市内の実業団や大学でプレーする選手と、関東大学リーグで活躍する県内出身選手で編成。U20世界選手権に出場した石倉浩規(工大一・東洋大)らが加わり、昨年よりチームが若返った。準決勝で前回王者の強敵・東京との対戦が見込まれる。

昨年5位の少年はインターハイ3位の工大一高のメンバーを中心に、県2位の八戸商高から近藤謙成、種市晃太郎の2選手がメンバー入りした。準々決勝の埼玉戦が一つのヤマ場となりそう。駒大苫小牧、白樺両高の選手が中心とみられる強豪・北海道は反対のブロックで、決勝まで当たらない。